

(3) 指導の観点と考察

① 活動のイメージ化

反省用紙の活用

一か月の活動内容を見通し、反省用紙にその週の活動予定と毎日の反省を記述させるようとした。また、週末には週の反省をさせ、次週の計画を立てさせるようとした。

や五年生の活動の様子を実際に見学させることにより、自分たちの活動への刺激になるよう配慮した。

他の係や学級の活動の様子を見学することで、いろいろな係のおもしろいところや工夫などを自分たちの係活動に取り入れたり、工夫したりして、別の係を作つたりするようになった。

資料3 「係の内容を見直そう」活動計画

活動の内容	指導上の留意点	観点
○ 各係毎の反省	・今までの係の活動の反省をして、自分の係の仕事について、考えさせる。	① ③
○ 他の学年の係活動の様子	・他の学年の活動の様子を知り、自分の係の仕事と比べるようにして、係の仕事への意欲を高めさせる。	① ②
○ 係活動の事例収集	・他の学校の活動の様子を聞くことにより自分たちの係の活動へ生かすことができるよう助言する。	① ②
○ 活動内容の見直し	・話し合いのペースとなる資料がつくれ、それぞれの係の仕事をみんなで協力できる雰囲気をつくる。	① ③
○ 実戦計画作成	・話し合いのペースとなる資料が作れ、それぞれの係の仕事をみんなで協力できる雰囲気をつくる。	①
本 時 間	1. 始めの言葉 2. 学級の歌 3. 話し合い ・各係の活動内容を説明 ・各係に対する質問 ・係の仕事に対し役に立つ意見 4. 先生のはなし 5. 反省 6. 終わりの言葉	・各係で考案したことをプリントにまとめ、話し合いに参入二日前までに冊にまとめて配付した。各係に対しうつて役に立つ考え方や楽しいイベントなどを提案できるようにしたのであるが、他の係の仕事内容が分かるだけ
実 際	○ 係活動の実践	・係の仕事の実践の様子をみんなに知らせるように係の新聞などを発行する。 ・アンケート調査などを行い集会活動の実施計画などを自分たちの力でできるようにさせる。

係活動実践の見学

他の学校の活動の様子をビデオで見せたり、自分たちの話し合いを基に活動内容の見直しができるようする。

話し合いのペースとなる資料がつくれ、それぞれの係の仕事をみんなで協力できる雰囲気をつくる。

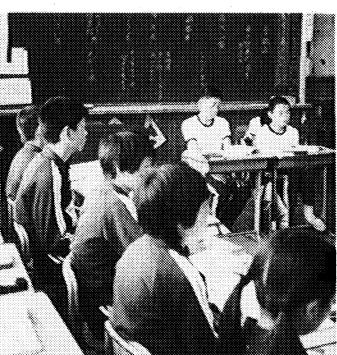
反省用紙を使うことにより、消極的な係の仕事が活性化し、積極的に活動に取り組む児童の姿が目立つようになつた。

話合いプリントの作成

各係で考案、工夫したことを探り合って、中学生年

話合いプリントの作成

したことをプリントにまとめ、話し合いに



真剣な表情で話し合い

② 活動における教師のかかわり

高学年の話し合い活動や実践活動では、教師は、児童の活動を見守ることが大事であると思われる。教師のかかわり方として活動する時間や場を提供する。活動が停滞し、消極的になつたときは、児童の相談にのり、適切な資料を提供したり、活動の方向を示唆したりする。児童の活動を朝や帰りの会などで、全員の前で認めてやる。以上の三点に心がけた。

でなく、自分の係に対する考え方を生かせるようになり、係活動への関心も高まってきた。

○ 成果と今後の課題

(1) 児童の実態に合った係活動を組織し、イメージ化を図る事前指導

(2) 児童同士が互いに認め合い、励まし合うようになり、学級・学校内に活気がみなぎつている。

(3) 教師の指導が指示的なものから児童の自発的、自主的な活動が見られるようになった。

○ 今後の課題

(1) 学級の係活動で培われた諸能力を、児童会やその他の集団活動にどう發揮させていくか、その手立てと援助指導のあり方を究明する。

(2) 低学年においては、賞状やシールなどによる意欲づけだけでなく「活動が楽しいから」「役に立てうれしいから」と、積極的に取り組もうとする意識を育てる。

③ 活動を認め合う場の設定

児童同士が互いに認め合つたり励まし合つたりする場面の設定に努めた結果、

友達の意見に拍手をしたり、活動内容をほめるような意見やより良い内容にしようとすると意見を出したりすれば、よい活動をした係に対し感謝したりする姿が見られるようになった。